

としょかん

図書館パズル～かくれている言葉をさがそう！～

たて、横、ななめに、下の言葉がかくれているよ！

○図書館 ○おはなし会 ○貸出 ○返却

○カウンター ○リクエスト ○予約 ○オーパック

図書館 は、ここにかくれていたよ。ほかの言葉もさがしてみよう！

イ	カ	シ	ナ	ハ	オ	ク	ク
ク	ト	シ	ヨ	カ	ン	ヤ	タ
ヤ	ー	ナ	コ	ト	ー	キ	オ
ク	ヤ	ヨ	ス	カ	タ	ン	ー
ダ	コ	エ	ホ	シ	ン	ヘ	パ
ク	ク	ン	ー	ダ	ウ	ツ	ツ
リ	エ	ス	オ	シ	カ	ヨ	ク



答えは図書館に
いるチバくん
がもっているよ

習志野市立 東習志野図書館
新習志野図書館
藤崎図書館
谷津図書館

東習志野・新習志野・藤崎・谷津図書館合同館報 こども版 平成28年1月発行

No. 8



とくしゅう
特集

- ◆図書館の始まりと歴史
- ◆おいしそう！な物語
- ◆季節を楽しもう

図書館の始まりと歴史

みなさんは図書館を使ったことはありますか？
図書館はだれでも無料で使って、自由に本を見ることができます。でも、昔の図書館は今とはちがうところがたくさんありました。

図書館の始まりと歴史をたどりながら、どんなできごとがあったのかを見てみましょう！



世界の図書館の始まり

文字が登場し、複数なことを記録するようになると、文字を記録した「ねん土板」や「パピルス紙」を管理するための倉庫が作られました。メソポタミア文明やエジプト文明にあった倉庫が、世界で初めての図書館と考えられています。



その本は図書館のもの！

古代エジプトにできたアレクサンドリア図書館は、この時代の1番大きな図書館として有名です。ここでは本を買い集めるだけでなく、書き写した本を作って持ち主にわたし、もとの本を図書館の本にしていました！

ここでしゃかいたことは、図書館の歴史のほんの一部です。
くわしくはこちらの本も読んでみてね！



約900年前
(12世紀)

本がくさりでつながっていた！

ヨーロッパで本が作られるようになったころ、本はとても大事なもので、なかには家が買えるくらい高いねだんのものもありました。そのため、図書館では大事な本を持ち出されないように、くさりでつないでいたそうです。

約150年前
(明治時代)

お金を使っていた！

西洋の文化が日本に入ってきたと、西洋式の図書館をもとに「書籍館（図書館の古い名前）」が作られます。しかし、この図書館を使うためにはお金をはらわなければいけませんでした。

約70年前
(昭和時代)

新しい図書館へ

第二次世界大戦のあと、日本にアメリカの図書館の様子が伝えられ、新しい図書館の仕組みを決めた法が制定されました。新しい図書館はそれまでの図書館と大きく変わります。書庫にしまってある本を図書館の人に取り出してもらう「開架式」から、自分で本を手に取って選ぶ「開架式」になり、今のようにだれでも無料で使うことができる図書館が日本中にふえていったのです。

『図書館のすべてがわかる本 1』秋田 喜代美／監修 岩崎書店 01ト1
『シリーズわくわく図書館 5』アリス館 01シ5
『本と図書館の歴史』モーリーン・サワ／文 西村書店 01サ

食べてみたくなる ものがたり おいしそう！な物語 特集

本の中に登場する食べ物。菓物やおかし、ごうかな料理、見たことのない不思議な物まで！ 本を読んでいる間に、おなかが空いてしまいそう。

おいしそうな食べ物が出てくる本を、たくさんごしょうかいします♪ あなたが好きな食べ物は何ですか？



本日のおすすめ！



『スプーンは知っている』
新藤 悅子／作 平澤 朋子／絵
講談社 913シ

「スプーンはなんでも知っている おいしいものならなんだって～♪」どんな料理もおいしくしてくれるスプーンの歌。ふしぎな人形“タマムさん”といっしょに歌いながら、大好きな人の笑顔をつくるおかしづくりにちょうどせん！



何から食べよう？

書名	著者等	出版者	請求記号
先生家でキッチン	小林 謙吾	講談社	90コ
すし食いねえ	吉岡 透夫	講談社	913ミ
若草物語 上・下	レイザ・メイ・オルコット	岩波書店	93オ1・2
大草原の小さな家	ローラ・インガルス・ワイルダー	福音館書店	93ワ
エーミルとクリスマスのごちそう	アストリッド・リンドグレーン	岩波書店	94リ
空にうかんだ大きなケーキ	ジャンニーロダーリ	河文社	97ロ
くもりときどきスートボール	ロン・バレット	原るる出版	Eハ
ときそば	川端 錦	ケレヨンハウス	Eカ

『特急おべんとう号』
岡田 よしたか／さく・え 福音館書店 913オ

主役はおべんとうのごはんやおかず。かせんじきで開かれ「全日本おべんとうマラソン」に参加するのも、特急おべんとう号で遠足に行くのも、おかずたち。どんな会話をするのでしょうか？



きせつたの 季節を楽しもう

冷たい風がふいて、さむ~い冬がやってきました。あたたかい場所で読書をするのもいいですが、この季節にしかできないこともしてみたいですね。
一人でもおもしろく、みんなで楽しく、元気いっぱい遊びましょう！

* * * * *

『かこさとしあそびずかん ふゆのまき』

かこ さとし／文・絵 小峰書店 78カ



「マツバあそび」や「てぶくろにんぎょう」など、冬の遊びをたくさんしようかい！ してみたい遊びがきっと見つかります。



『たこあがるかな』

秋山 幸雄／作 三枝 祥子／絵
福音館書店 75ア

部屋の中であげられる「オリガミ・カイト」や、ストローとレジ袋を使う「ストロー・カイト」を作って、手軽にたこ遊びをしてみましょう。



『はじめての編み物ゆびあみ』

寺西 恵里子／作 汐文社 59テ



「ゆびあみ」はかんたんにできる編み方。マフラー や シュシュ、ぼうしだって作れます。初めての編み物にチャレンジ！



* * * * *

『百人一首大事典』

吉海 直人／監修 あかね書房 911ヒ



歌の意味や作者について
百人一首をふか~く知って、
かるた遊びを楽しみましょう。



* * * * *

この本もおすすめ！

◆『季節をたべる冬の保存食・行事食』

濱田 美里／著 藤田 美菜子／絵 アリス館 59ハ

◆『しんぶんしであそんじゃおう！』

いまい みさ／著 毎日新聞社 75イ

◆『けん玉学』窪田 保／著 こどもくらぶ／編 今人舎 79ク

◆『双六』吉田 修／文 翔奉庵／監修

築地双六館／監修 山本 正勝／文 文溪堂 79ヨ

* * * * *